

## 第4回 情報化施工実技講習会を行いました。（平成26年11月12日）

主に国及び自治体の技術者を対象とした情報化施工の実技講習会をぐんま男女共同参画センターで行いました。

当日は、28名の方々が参加されました。午前中は、主に座学による情報化施工の知識を習得して頂き、午後は、実技と体験を中心としたプログラムで行いました。

- |         |   |  |             |
|---------|---|--|-------------|
| 1 講習月日  | : | 平成26年11月12日（水）                             | 10:00~16:30 |
| 2 場 所   | : | ぐんま男女共同参画センター4階 大研修室                       |             |
| 3 受 講 者 | : | 国及び自治体職員                                   | 計28名        |
| 4 協力団体  | : | 西尾レントオール株式会社、福井コンピュータ株式会社<br>株式会社ニコン・トリンプル |             |



ぐんま男女共同参画センター（群馬県前橋市）

### 午前中の座学



主催者代表挨拶

要旨：国土交通省では情報化施工の普及の拡大に取り組んでいる。自治体の皆様の協力を得て講習会など開催し、更なる周知に努めていく。



情報化施工について

要旨：①情報化施工推進戦略、②情報化施工の必要性和効果、③自治体事業（工事）における情報化施工の効果等。



マシンコントロール・マシンガイダンスについて



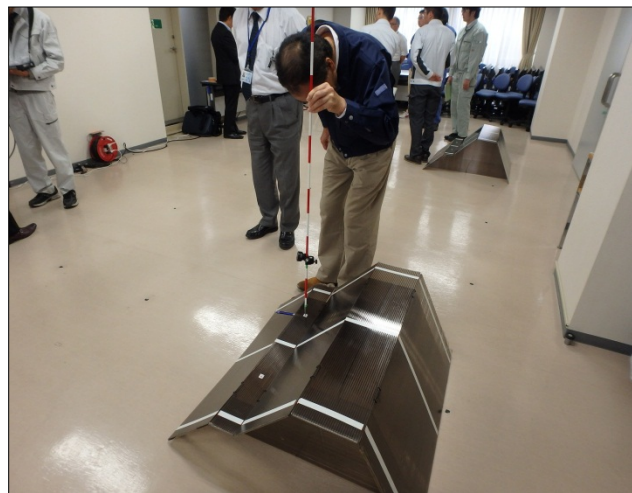
TS（トータルステーション）を用いた出来形管理について

## 午後の実技・体験

### TS(トータルステーション)を使った出来形管理の実技



盛土を模したTS実技会場



TSによる計測実技



# 締固め回数管理システムの体験



模型



コントローラ

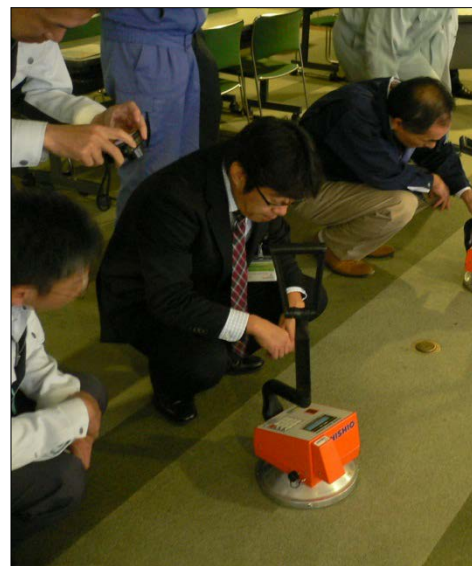
締固め回数管理を模した会場



模型を使った体験



踏んだ回数により色が変わる



PQIを用いた実技

## 【受講者の感想】

- ・国の情報化施工への取り組み
  - ・国が情報化施工技術を自治体に普及させる計画について今後の対応等、現場を意識して見ることが出来る。
- ・TS出形管理技術
  - ・実際に体験できてイメージがつかみやすかった。
  - ・これからは、この管理方法が一般化されていくと感じた。
  - ・実際に測量を行うことでよく理解できた。また、自分の地域では行われていないが事例が増えてきても対応できそうだと感じた。
  - ・身近な機械であるが直接触れる機会が少なかったが、自動追尾機能等の最新機種を実際に使うことが出来て非常に参考となった。また、施工機械等の進捗の早さに驚いた。
  - ・トータルステーションがこのように使われていることを知らなかった。
  - ・実機に触れる機会がないため、大変参考になりました。
- ・MC・MG技術
  - ・実際の現場の様子が動画で見れたのでイメージがわいた。
- ・自動締固め管理技術
  - ・発注者指定型の工事が発注されていたので監督の際に非常に参考となった。
- ・アスファルト密度測定器－PQI
  - ・橋面舗装など場合によっては、使える。